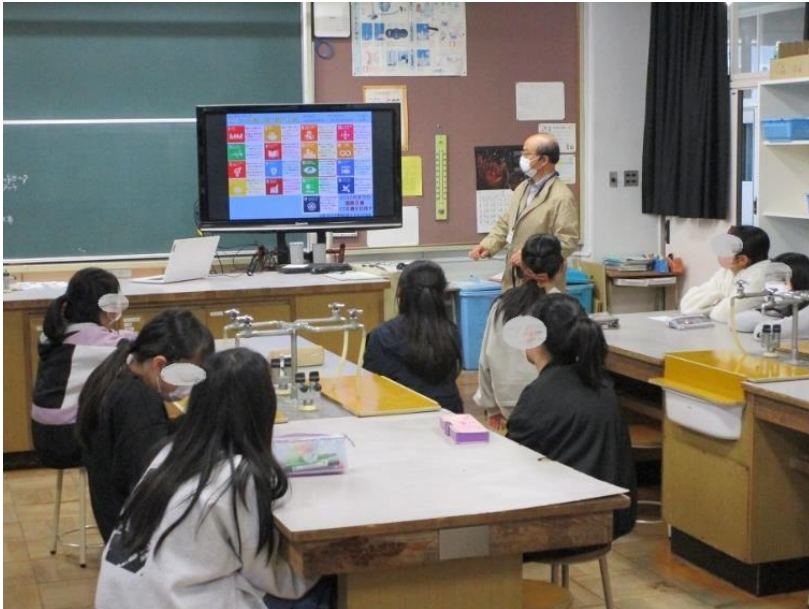


## さだ西小学校環境出前授業完了報告

2月13日にさだ西小学校で後期第4回目の環境出前授業を行って来ました。  
後期エコクラブの最終回となる今回のテーマは、「穂谷の里山の話とクラフト製作を楽しもう」  
でした。講師には穂谷で長年里山保全活動をしておられる「竹取物語の会」の方をお願いしました。



### 13：気候変動に具体的な対策を

13 気候変動に  
具体的な対策を



- 人々が出す温室効果ガスによって地球の温度があがるのを防ぐこと
- これまでとちがう災害にきちんと備えること

### 15：陸の豊かさを守ろう



- 森林破壊を減らして木を植えること
- 動物や植物をかってに捕まえたり売ったりするのを防ぐこと

講義の前に、まず今回の「環境出前授業」の内容がSDGsのどの項目に該当するのかを話して、その項目の「13・気候変動に具体的な対策を」の中の地球温暖化を防ぐ事が、「里山保全のために木々を大切すること」でも達成出来る事、「15・陸の豊かさを守ろう」の中の生物多様性を守る事が、「里山を守っていくこと」でも達成出来る事、などを簡単に説明しました。



前半の講義では、枚方の里山保全活動の現況を説明した後、枚方市発行の「枚方ふるさといきもの調査」資料の数字から、枚方の動植物の多くが穂谷に生息している事や、穂谷にはまだまだ自然がたくさん残っていて素晴らしい場所である事、里山を守っていくには定期的な伐採など、人の手で管理していく事が必要である事など、実体験に基づいた話しをしていただきました。



その後、穂谷の間伐材や竹の枝や植物の種を使った「トンボのマグネットクリップ」の製作に取りかかりました。児童たちは、間伐材を裁断して裏にマグネットを貼り付けたベース台に、竹の枝をトンボの胴体にして、植物の種をトンボの目玉や羽の形に貼り付けて、各自、工夫を凝らした「トンボ」を製作しました。

この「トンボのマグネットクリップ」をみる度に今日の「穂谷の里山」の話しを思い出してくれて、それが「自然」に関心を持ってくれるきっかけになれば、と思います。

最後に、記念として「トンボ」よりも難しいどんぐりや木の枝を使った「カエルとイノシシの置物」を全員にプレゼントして皆さんに喜んでいただきました。



**出来ることを「考える」だけではダメ!!**  
**「実行」することが大切!!**  
**地球の未来のために、**  
**今、出来ることを**  
**自分たちが「実行」しよう!!**

又、今回は後期エコクラブの最終回でもありましたので、4回にわたって行った「環境出前授業」の各回の内容のレビューと実施風景の写真をみんなで見ながら、「振り返り」を行いました。そして、私たち「ひらかた環境ネットワーク会議」の「環境出前授業」が、「エコクラブ」を通じて児童のみなさんに理解してもらいたい事は、環境問題を、「知ってもらい」、「気付いてもらい」、「考えてもらい」、「そして行動してもらいたい」、と思っている事であることを説明して、最後に、「出来ることを「考える」だけではダメ、「実行」することが大切、地球の未来のために、今、出来ることを自分たちが「実行」しましょう」と言う言葉で締めくくりました。以上